

第37回ふながた若鮎まつり 約21,000人で盛り上がる



▼問い合わせ／
舟形町まちづくり課交流促進係
☎(32) 2111 (内線355)

9月9・10日、アユパークを会場に第37回ふながた若鮎まつりが開催され、約21,000人の来場者でにぎわいました。

「ステージエリア」では、舟形中学校吹奏楽部の演奏や舟形小学校の若鮎太鼓、各種団体の発表のほか、ゲストの朝倉さやさんや三船和子さんの歌謡ショーなども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

「子どもエリア」では、縄文炎祭実行委員会と長沢集学校の出店や、もがみ南部商工会青年部による子ども鮎つかみどり大会も開催され、多くの子どもたちが歓声を上げて鮎を追いかけました。

さらに「食のエリア」では、約20,000匹の焼き鮎を350円の特別価格で提供したほか、鮎ご飯や芋煮やまがた地鶏の炭火焼きや冷たいラーメンなど、舟形のおいしいものが勢ぞろいしました。

舟形町の誇る様々な魅力を来場者のみなさんは存分に堪能した様子で、笑顔あふれるまつりとなりました。

Cover Person ~表紙の紹介~



8月21日、メットライフドーム(埼玉県)で、文部科学大臣杯争奪「第20回全国小学生ティーンズ選手権大会」が行われ、舟形ビッグサンダーズが見事全国3位になりました。詳しくはP11をご覧ください。

広報 ふながた 9

もくじ ~Contents~

- p3..... ふなびく
- p4..... 平成28年度 ふるさと納税実績報告シリーズ
- p6..... 人口減少だからこそ ~官民協働・地域間連携による住民主体の地域づくり推進事業~
- p8..... 日本一おいしい給食をみんなの手で!
- p10... まちのわだい、ふながたのアスリートを紹介
- p12... ふれあい広場
 - ・防災無線を受信できていますか?
 - ・奉納 さばね山相撲大会
- p14... 青いシグナル、ぽっぼ舎通信
- p15... 舟恋、カメラアングル、戸籍の窓
- p16... 病児預かりについて

町長コラム

感謝

先日、第37回ふながた若鮎まつりが開催され、約21,000人の方に来場していただきました。4,500年前の縄文の女神に象徴されるように、縄文時代から続く舟形の豊かさを、鮎の味覚によって県内外にPRすることができました。若鮎まつりを支えてくださったすべてのみなさまに感謝と御礼を申し上げます。

9月定例議会において、「伊藤茂未来を拓く基金」をつくることをご承認いただきました。名誉町民の故伊藤茂元運輸大臣のご遺志により、中学校の図書整備にと、長男の進氏から500万円のご寄付を賜りました。町でも、ご遺志を永く後世に伝えることができるよう同額を拠出し、1,000万円の「伊藤茂未来を拓く基金」をつくりました。故伊藤茂氏のご遺志は、きつと、舟形の子どもたちに、自分の後に続く、国や世界で活躍する人になって欲しいという強い思いだと思います。さらなる舟形の子どもたちの飛躍と活躍を期待し、そして、郷土の偉人に心から感謝と御礼を申し上げます。

森 富広

